



第2回 野外薬用植物観察会

作成者：薬学科 1年 中嶋、白濱、野村

概要

09年05月09日(土)に矢原先生、白崎先生引率のもと佐藤千芳先生を講師に加えて阿蘇青少年交流の家周辺で薬用植物の観察会が行われました。自然と親しみながら薬学と環境との関連や自然保護の必要性などを体感し、牛と触れ合ったり、ゴミを拾ったりしました。

観察コース

薬学部キャンパス玄関→阿蘇青少年交流の家周辺第一駐車場→クロスカントリーコース→牧野→桜並木→キャンプ場→貯水池→つどいの広場→薬学部キャンパス玄関

観察できた植物



ハナショウブは似ているようでもアヤメ科です

ショウブ(サトイモ科)の花
芳香性健胃・神経痛・リウマチ



オキナグサ(キンポウゲ科)
清熱解毒・止瀉
白髪のような白い綿毛が名前の由来



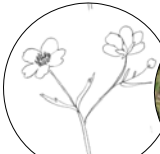
Drawn by Tさん



クララ(マメ科)の新芽
消炎止瀉・苦味健胃薬



ヤブニッケイ(クスノキ科)
樹皮に鎮痛作用があります



Drawn by Sさん



ウマノアシガタ(キンポウゲ科)
毒草です！
食べると嘔吐下痢になるので、牛はこれを避けて食事していました



ギシギシ(タデ科)
緩下剤・水虫にしぼり汁



ユズリハ(ユズリハ科)
葉・解毒・駆虫・去痰・利尿



ケショウヨモギ(キク科)
葉に腹痛・腰痛・止瀉・鎮痒作用
葉の汁は止血に使えます



アカメガスワ(トウダイグサ科)の新芽
抗潰瘍・胃液分泌抑制・胆汁抑制・痔・腫れ物
赤い葉が新芽です



ミズヒキ(タデ科)の葉
止血・腰痛・胃痛

薬草の名前と効用をしっかりと覚えましょう！



～感想～

・何気なく生えている野草が生薬として用いられていることに驚きました。さらに、阿蘇には様々な植物が有ることも分かり、生薬の知識を増やす良いきっかけになりました。阿蘇に自生する薬用植物の中には絶滅危惧種に指定されているものもあり、環境を守ることが、これらの貴重な薬用植物を守ることに繋がります。都合が合えばまた参加したい。 By R.H.

・エコファーマの野外活動は初めての参加であったが、有意義な時間を過ごせた。普段遊んでいる休日をフルに有意義に使えた。阿蘇の大自然の中で散歩がてら歩きながら薬草を見つけ、たまに牛と触れ合ったり弁当を広げたりする。この年になるとなかなかないことである。頭にも体にもいいことをした気がする。都合が合えばまた参加したい。 By A.O.

・今回、阿蘇での薬用植物観察会では大自然に触れ、友達との交流もあったので心も体も非常にリフレッシュできた。今回の初めての薬用植物観察会で感じたことは、自分たちが気付かないだけで私たちの周りには薬用植物が溢れているのだということである。今回の観察会を通して薬用植物への興味が以前より湧き、もっと薬用植物について知りたいと思った。キャンパスの薬園にも積極的に足を運びたいと思う。是非とも次回の薬用植物観察会にも参加したいと思う。 By D.T.

・今日はとても暑くて疲れたけど、たくさんの植物を実際に見ることができてよかった。植物の名前の由来や、似ているもの見分け方も知ることができた。中には毒性があるものもあるので、知識がないと大変なことになったと思った。今回、最も印象に残った植物はワラビである。ワラビは大好きで食べていたけれども、ワラビに発がん性物質があることには衝撃だった。ワラビを加熱処理すれば発がん性は消えるので、安心して食べていいので本当に良かった。また、牛と間近で触れ合うことができて楽しかった。少し怖かったけど、のんびりとしていて、見ていると癒されたようだった。牛も草をただひたすら食べているのではなく、毒性がある植物を避けていることがわかった。子供のころ、何も知らずに草や花のみつなどを吸っていたので、衛生面から見ても危ないことをしていたようである。前回の植物観察会と合わせると、覚えた植物の数が、少しずつ増えてきたので、これからも参加して行きたい。 By N.F.

・今回環境ISOの授業の一環として阿蘇に行きましたが、そこで様々な花、木、草、牛などを観察できてよかったです。あんな身近な所に薬草があることに驚きました。小さい頃はよく草むらで遊んでいたけど最近では外で遊んでいなかったの、久しぶりに自然と触れ合うことができたので心がリフレッシュしました。また機会があったら参加したいです。 By H.O.

